

あきやま子どもクリニックニュース2017年10月号

10月1日は当院の開院記念日です。20周年を迎えます。皆様のご協力によって、年を重ねられることを心から感謝しています。ありがとうございます。当院の積み重ねが子どもたちに役立つようにと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



20周年記念

院長より



「子どもをほめる意味」

子どもたちは生まれてから、様々なことを学びます。その学ぶ方法の一つが親から「ほめられる」ことです。ほめられて「今の自分の行動は正しい」と認識して繰り返します。親が怒っているのを「ほめられている」「相手にされている」と間違っただけだと認識すると、それも繰り返します。そこで、小さい子どもには良いことはたくさんほめ、悪いことは短く注意するだけにしたほうがよさそうです。



インフルエンザ予防接種
接種は10月13日から開始します。
接種方法については、ホームページをご覧ください

接種料金は4000円
(2回目の接種料金は3000円)

かかりつけ医にされている方は会員用ホームページをご利用ください。

最近の流行っている病気

季節の変わり目と寒暖や気圧のせいでゼイゼイの咳が増えてきました。また、喘鳴を主症状とするRSウイルス感染もあります。大きいお子さんたちにマイコプラズマ感染もあります。

感染症として、手足口病、突発性発疹、水痘、りんご病があります。

訪問看護ステーション

9月は、あきやまの施設に、武蔵野大学の学生さんたちが実習にきていました。訪問看護にも何人か参加してもらいました。初めてみる在宅生活の様子をそれぞれに感じ取っていたと思います。訪問先で可愛いらしい手遊び歌を披露してもらいました。子どもたちは初めて聞く歌に瞳をキラキラしながら見入っていました。きっと学生さん達にも心に残る実習になったのではないかと思います。

(文責 梅田可愛)

病児保育室便り

病児保育室には、毎日違う異年齢のお子さんが利用します。先日、7か月のお子さんが利用しました。その他に1歳や5歳のお子さんもいました。1歳5か月のお子さんは小さいながらお姉さんになり、7か月のお子さんが座っているラックにおもちゃやぬいぐるみを持ってきてあげていました。5歳のお子さんは、7か月のお子さんが眠ったり起きたりするたびに、スタッフに「眠ったよ」と教えてくれました。みんなで7か月のお子さんを見守っていた1日でした。

(文責 千葉美香)

今月の代診と休診



4日(水)	午後診療	宗像先生
5日(木)	午後診療	宗像先生
6日(金)	午後診療	宗像先生
7日(土)	早朝・午前診療	西堀先生
11日(水)	午後診療	宗像先生
12日(木)	早朝診療	西堀先生
16日(月)	午後診療	宗像先生
24日(火)	午前診療	宗像先生
26日(木)	早朝診療 午後診療	西堀先生 宗像先生

木曜日の午前診療は西堀先生です。